

# 国語科学習指導案

授業者 広島市立〇〇中学校 教諭 〇〇〇〇

- 1 日時 平成29年9月〇日(〇)
- 2 学級 第2学年〇組
- 3 単元名 君は「最後の晩餐」を知っているか

## 4 単元の目標

### (1) C 読むこと イ

文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

### (2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(オ)

相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。

〔参考〕新学習指導要領

【知識・技能】(2)ア

意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解すること。

## 5 本単元における言語活動

修学旅行での体験を生かし、修学旅行先である〇〇〇を紹介する文章を書くこと。

## 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
修学旅行の体験を振り返り、後輩に伝えたい話題を選んで、構成を整理しようとしている。	伝える内容について、具体的な場面を挙げるとともに、その共通点を見い出して説明している。	伝える相手や目的によって、文章の展開に違いがあることを理解している。

## 7 単元について

### (1) 生徒観

本学級の生徒は、1年時に「ダイコンは大きな根？」や「ちょっと立ち止まって」を通して、意見を述べる段落とそれを説明する例示の段落を組み合わせることで、主張に説得力を持たせていることを、また、2年時には「生物が記録する科学」で、各段落の役割を考えながら要点を取り出すことで、大まかな内容がとらえられることを学んだ。しかし、構成や展開そのものは読み取ることができるものの、主張と理由の関係の重要性や、筆者がどのような意図で具体例を取り上げ、それをまとめる抽象的な表現をしているのかといった情報同士の関係を考えることから、内容の理解につなげる意識は不十分である。そうした点が、感覚的に文章のおもしろさやわかりやすさを感じていながらも、その理由を説明することが苦手であったり、自由な作文や感想文を書くような、自分の考えを述べることに自信が持てなかったりする実態にもつながっていると考える。

## (2) 教材観

本単元は、学習指導要領「文章の解釈イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。」を受けて設定するものである。本教材は、序論・本論・結論で構成されており、本論部分では「最後の晚餐」の魅力を、解剖学、遠近法、明暗法という具体的な事例を挙げた上で、「絵画の科学とその可能性」というキーワードによってまとめている。三つの具体例の共通点を一つの言葉にまとめていく（抽象化していく）中で主張を明確にする展開から、具体と抽象の関係を考えるのに適した教材であると考えられる。

## (3) 指導観

今回、単元を貫く言語活動として、修学旅行で〇〇〇へ行く可能性がある後輩へ向けて『君は「〇〇〇」を知っているか』という文章を書くことを設定した。先日修学旅行で訪れた〇〇〇での自身の民泊体験を後輩に伝えるという場を設定することで相手意識と意欲を喚起したい。また、内容については〇〇〇の魅力を主張、理由、具体例を挙げながら紹介する。特に構成を考える際には具体的な場面を紹介するだけでなく、共通点をまとめる表現を考えるよう指導していきたい。そのために本時では、筆者の具体例やそれをまとめる表現の仕方にどのような効果があるかを考えさせ、自分の文章に生かすよう指導していく。

## 8 指導と評価の計画（4時間）

次	時	主たる学習活動	国語への関心・ 意欲・態度	読む能力	言語についての知識・ 理解・技能	評価規準（評価方法）
一	1	修学旅行で訪れた〇〇〇のいいところを一つ具体的に紹介する。 本文を通読し、論の展開の仕方について理解する。	○	○		序論・本論・結論に分け、本論がどのような順で展開されているかを理解している。（ワークシート）
二	2	序論・本論・結論に書かれている内容を理解し、文章を構成する要素を捉える。		○		内容を把握し、全体の構成を理解している。（ワークシート）
	3	文章を構成する上での重要な要素を捉え、その理由を説明する。 （本時）		○		文章を構成する抽象的な部分と具体的な部分の関係を考え、その必要性を説明している。（ワークシート）
三	4	『君は「〇〇〇」を知っているか』を書く。		○	○	主張と理由、抽象的な部分と具体的な部分の関係を明確にした文章を書いている。（ワークシート）

## 9 本時の目標

文章を構成する抽象的な部分と具体的な部分の関係を捉えることができる。

## 10 本時の目標を達成するための言語活動

文章の抽象的な部分、具体的な部分の働きを説明すること。

## 11 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の工夫・留意点	評価規準・評価方法
導入	前時の復習をする。	構成カードを用いる。 文章を構成する要素の確認	
展開	本時の目標を確認する。		
	筆者の説明の仕方から、紹介の仕方を考えよう		
	文章構成カードの中から、重要なものを考え、その理由を説明する。  具体的な部分と抽象的な部分の役割や関係を考える。  『君は「〇〇〇」を知っているか』を書く際に取り入れたいことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ重要だと考えるのか、またその理由を考えるよう指示をする。 個→小グループ→発表</li> <li>具体例を挙げることでどのような効果があるか、抽象的な表現は何のために必要なのかを考えさせる。 小グループ→発表</li> <li>教科書の理解が難しい場合には、身近な例を取り上げる。</li> <li>文章の構成について、取り入れようとする理由とともに書くよう指導する。</li> </ul>	<p>A 具体的な表現、抽象的な表現それぞれの特徴と主張とのつながりを述べている。</p> <p>B 具体的な表現、抽象的な表現それぞれの特徴を述べている。 ワークシート</p>
まとめ	説明的の構成について理解したことを学習記録に記入する。	・次時は、『君は「〇〇〇」を知っているか』を書くことを伝える。	